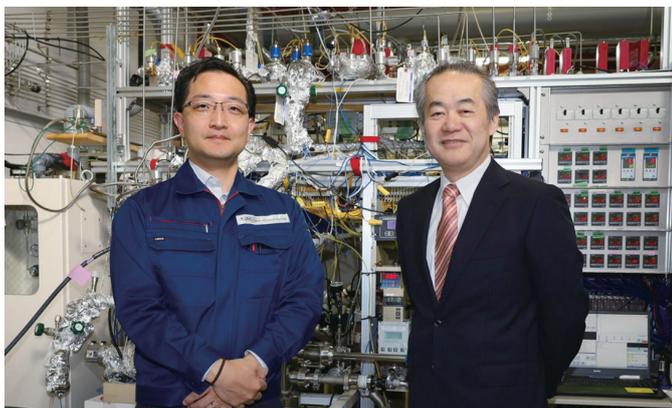


入居企業紹介 その234

SICに入居されている企業様をご紹介します。

『化学材料と成膜プロセスの一貫ソリューション企業として飛躍!!』



財津センター長

安原社長

【入居企業プロフィール】

株式会社ジャパン・アドバンスト・ケミカルズ
代表取締役社長 安原 重雄(やすはら しげお)

ジャパン・アドバンスト・ケミカルズ(以下、JAC)社は2004年に八王子で設立。成膜材料ベンチャー時代の上司・部下の関係にあった現代表取締役会長の三尋木さんと現代表取締役社長の安原さんで、共に起業しました。2005年にSICに入居し、2014年にStartup Lab. (SIC-1)からInnovation Lab. (SIC-3)に移転、2018年に本社を厚木市の内陸工業団地内に移し、2024年にはつくばみらい市に生産技術設計開発センターを開設しました。JAC社は国内外の半導体関連企業からの受託開発や共同研究開発を行っており、世界の最先端半導体研究開発を支える業界内の黒子企業とも言えます。

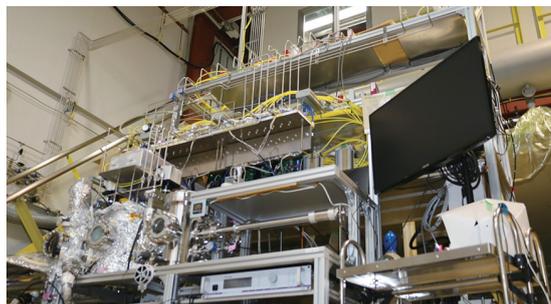
【JAC社の事業内容】

JAC社の事業は大きく3つで、「半導体製造などに使用されるALD/CVD材料の開発・製造・販売」、「化学材料用の特殊なステンレス容器の設計・製造・販売」、「顧客要求に合わせた薄膜を試験的に成膜する受託研究」です。Innovation Lab.ではプロセス開発センターとして受託成膜の業務を行っています。

受託成膜事業は、「化学材料の知見」と「成膜技術」を融合させた一貫解決型サービスです。単なる成膜の代行ではなく、材料の選定から合成、成膜プロセス開発、評価までを垂直統合で行える点が、国内外の競合他社にはない最大の強みとなっています。技術面では、ナノメートル単位での膜厚制御が可能なALD(原子層堆積法:原子を一層ずつ積み上げ、薄膜を作る技術)やCVD(化学気相成長法:ガスの化学反応で基板に薄膜を形成する技術)を主軸としています。シリコン系や化合物半導体材料、高誘電体、金属膜、耐腐食・耐摩耗コーティング、ガスバリア用樹脂への成膜など、幅広い用途に対応可能です。自社で特殊化学材料を製造しているため、既存の材料でニーズが満たせない場合には、カスタム合成した新規化合物を用い

た成膜試験にも対応可能です。

JAC社がさらにこだわり、追求しているのは、開発初期段階における“スピード”と“柔軟性”です。チップサイズから2インチ径までの小サイズ基板に対応しており、高額な装置を自前で導入する前に、どのような条件でどんな膜ができるかを低コストで検証できます。社内には、超高真空仕様や最高1500°Cの高温に対応した各種ALD・CVD装置が揃っており、炭化ケイ素(SiC)や窒化ホウ素(BN)のような高温素材にも対応し、ガスラインの変更やプラズマ処理、オゾン等の多様な酸化剤の使用など、顧客の要望に応じた装置のカスタマイズや条件設定が可能です。さらに、成膜プロセスのみならず、材料の熱安定性や蒸気圧といった物理データの取得や、成膜後の膜質評価も一貫して行います。これにより、顧客は装置設計の仕様策定やプロセス条件のスクリーニングを効率的に進めることができ、開発期間の大幅な短縮とコストダウンに貢献します。



受託成膜をより効率的に行う為の装置“多目的クラスタープラットフォーム”

【これからの目標】

受託成膜で培った技術力や顧客からの評価、信頼をもとに、特殊化学材料の開発、販売も強化していきます。おかげさまで少しずつ受注も増えてきていることから、化学材料製造の生産能力も向上させていかなければなりません。そのため、つくばみらい市に生産技術設計開発センターを開設しました。

これからの成長を支えるのは“人材”で、JAC社の事業や企業としての姿勢に共感してもらえる人材、共に成長していける仲間を増やしていきたいです。半導体分野で磨き上げた知見を光学薄膜、レーザー応用に、さらには再生可能エネルギー、医療機器、生体材料、飲料分野へ展開し、一層の発展を目指します。

株式会社ジャパン・アドバンスト・ケミカルズ
プロセス開発センター

SIC-3 Innovation Lab. 3114号室

本社:厚木市上依知3007-4(神奈川県内陸工業団地内)

<https://japanadvancedchemicals.com/>

※ホームページ内にお問い合わせフォームがあります。



入居企業トピックス

2月の新聞掲載記事紹介(2月24日時点)

メディアに紹介された企業をご紹介します。

ご紹介する記事はSICに掲載していますので、ご覧ください。
またメディアに掲載された場合、スタッフに教えていただくと幸いです。

2月12日 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞
—2026年施行!中小企業経営者が今備えるべき
「取適法」の核心【総まとめ・後編】—

施設からのお知らせ

SIC-3全館停電のお知らせ

建物電気設備(キュービクル)の法定年次点検実施に伴い、停電を予定しています。

SIC-3 令和8年3月7日(土)9:00~12:00

作業時間中は停電となります。前日までに各部屋のサーバー等電源への停電対応をお願いします。詳細は別途ご案内します。

市役所本庁舎で自律走行ロボットの 実証実験を開始

2月13日、市役所本庁舎にて「ロボットフレンドリーな環境構築に係る実証事業」による自律走行ロボットの実証が披露されました。



この取り組みは、市と戸田建設(株)、さがみはらロボットビジネス協議会の三者が締結した協定に基づくものです。開発された「相模原モデル」のロボットは、高さ70cmの筒型で、セキュリティボックスを搭載。既存のシステムに地元の知恵を詰め込んだ、まさに「ロボット産業特区」ならではの一台です。この挑戦には、入居企業が3社参加しています

入居企業

コミュニアルテクノロジーサービス株式会社
<協議会において本プロジェクト幹事を務めています。>

株式会社F-Design
<代表の藤本社長は、「さがみはらロボットビジネス協議会」の会長を務めています。>

株式会社グリーンノート

現在、市役所本庁舎にてエレベーターの制御機能とロボットシステムを連携し、荷物の運搬をする実証実験が行われています。

【実証期間】2月17日~3月12日の毎週火・木
10時30分~17時
【場所】相模原市役所本館エレベーター



編集後記

記録的少雨により津久井湖の湖底が現れたことが話題となっています。神奈川県の水源は県西部の丹沢と道志の降雨に依存しており、関東でも独自の水源となります。一方アメリカでは生成AI開発に伴うデータセンターの冷却水不足に悩まされているとか。地域・産業問わずに水に頼らない技術開発が、世界で期待されます。(佐藤)

★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ:https://www.sic-sagamihara.jp
発行元:株式会社さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail:koho@sic-sagamihara.jp

SIC空室情報 (令和8年3月2日 現在) ※お気軽に稲垣・大谷までお問合せください

	部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費・消費税込)
SIC-1 Startup Lab.	○スモールオフィスA(23.6㎡)	3	97,680円
	○スモールオフィスB(17.3㎡)	1	79,640円
	○スモールドライラボ(17.3㎡)	2	79,640円

最新の情報はHPをご確認ください。

SIC-3消防訓練実施のお知らせ

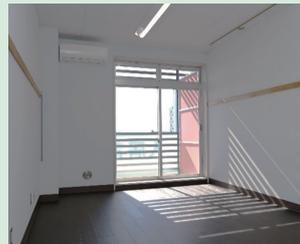
消防訓練実施日 令和8年3月12日(木)14時~15時

【訓練内容】 避難訓練、水消火器、心肺蘇生(心肺蘇生は食堂で実施。訓練中は使用できません)

【担 当】 大谷(042-770-9119)



スモールオフィスBリニューアルのお知らせ



SIC-1 Startup Lab. のスモールオフィス B の床をリニューアルしました!

オフィスのタイルカーペットからおしゃれな木目調の床に変わりました。タイルカーペットに比べ耐久性が上がり、リラックスした雰囲気が高い創造性をかきたてます。

The HINT72 SICミニセミナー

“右腕”育成と活躍の場をつくるシンプルな6つのカギとは?
~頼れる右腕がいれば、企業も新規事業もうまくいく~

売上が伸びても組織が乱れる要因は右腕やメンバーが迷わず動く仕組みが不足しているためです。本セミナーでは組織運営システム EOS® を紹介し、右腕が生まれ活躍する組織づくりの具体策を実践的かつ丁寧にわかりやすく解説します。

【日 時】 3月25日(水) 15時~16時30分
【場 所】 KANAGAWA Space Village
(相模原市緑区橋本 3-28-1 ミウイ橋本 2F)

【主 催】 KANAGAWA Space Village・SIC

【お問い合わせ】 片山(内線 1001)

【お申し込み】



★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ:https://www.sic-sagamihara.jp
発行元:株式会社さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail:koho@sic-sagamihara.jp